

みずほフィナンシャルグループ

第14期中間 株主の皆さまへ

事業活動のご報告

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日

CONTENTS

トップメッセージ	1
One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに	3
中期経営計画	5
決算ハイライト	11
コーポレート・ガバナンス	15
Dialog ～株主さまとの対話～	17
Topics	20
会社概要	21
株主さまインフォメーション	21



〈みずほ〉のあるべき姿の実現に向けて“競争優位の確立”に全力を注ぎ、株主の皆さまに、その成果をしっかりとお届けしてまいります。引き続き、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

の確立”に全力を注ぎ、まいります。

2015年12月

取締役
執行役社長 グループCEO

佐藤 康博



Q 中期経営計画『One MIZUHO New Frontier プラン~〈みずほ〉の挑戦~』の進捗状況を教えてください。

2013年度からの3年間を計画期間とする中期経営計画がスタートして2年半が経過しました。

この間、お客さまの多様なニーズにグループの総力をあげてお応えする「One MIZUHO戦略」を推進してまいりました。

また、経営基盤につきましても、持株会社の機能強化や指名委員会等設置会社への移行等による先進的ガバナンス体制の構築に加え、強固なコーポレートカルチャーの確立に取り組んでまいりました。

こうした取り組みの結果、顧客部門を軸とする収益構造への転換も進み、多くの目標を前倒しで達成する等、全体として順調に進捗しております。

2015年度は、中期経営計画の最終年度として、“競争優位の確立”に全力を注ぐ1年と位置付け、「One MIZUHO戦略」のより一層の強化に加え、

事業領域の選択と集中に取り組んでおります。

具体的には、「大企業との取引分野」「中堅・中小のオーナー企業等との取引分野」「非日系優良企業との取引分野」「アセットマネジメント分野」を4つの重点事業分野として定め、経営資源を重点的に配分し、これまで以上にグループ一体となった取り組みを強化しております。

Q 2015年度上期の決算の状況について教えてください。

2015年度上期の業績につきましては、連結中間純利益*は3,841億円と、前年同期比+289億円の増加となりました。年度計画6,300億円に対する進捗率は60%となり、順調な進捗となっております。

主な要因といたしましては、銀行・信託合算の顧客部門収益が国内・海外ともに好調であり、また、みずほ証券においても株式や投資信託関連の手数

料収益等が伸び、連結業務粗利益が前年同期比大幅増加となったことに加え、概ね堅調に推移した株価を背景に、政策保有株式削減に伴う売却益等が積み上がり、株式等関係損益も前年同期比大きく増加したことが挙げられます。

自己資本につきましては、普通株式等Tier1比率(第11回第11種優先株式含む)は完全施行ベースで10.82%と、中期経営計画の目標である8%を上回る水準を確保しております。

*親会社株主に帰属する中間純利益

Q 株主還元方針について教えてください。

当社は、「安定的な自己資本の充実」と「着実な株主還元」の最適なバランスを図る「規律ある資本政策」を遂行しております。

2014年度より、新たな株主還元方針として、連結配当性向30%程度を一つの目処とした上で安定

的な配当を実施する方針としております。この方針に基づき、普通株式一株当たりの年間配当金の予想は7円50銭としており、中間配当は3円75銭にて実施いたしました。(優先株式は所定の配当)

今後も着実な株主還元を経営の重要な課題として位置付け、実現してまいります。

普通株式の一株当たり配当金額の推移

